第54回
心身健康科学サイエンスカフェ

ヒトゲノムと進化からみた生活習慣病

中山一大（なかやま　かずひろ）先生
東京大学大学院新領域創成科学研究科先端生命科学専攻
人類進化システム分野　准教授

令和3 年9 月10 日(金)18：00 -19: 30
Zoom（オンラインのテレビ会議システム）
にて開催します参加費：無料

演者から

メタボリック症候群のような生活習慣病は、その名の通り、運動不足や過食といった現代的な生活習慣の影響を強く受けて発症する・しないが決まる病気ですが、私達一人ひとりが持っている遺伝子の個人差も、これに深く関わっていることが明らかになっています。生活習慣病のかかりやすさに関わっている遺伝子は、これらの病気がまだ存在しなかった太古の時代には、どのような意味をもっていたのでしょうか。ゲノム、すなわちヒトがもつ全ての遺伝情報を詳しく解析することによって、この問いの答えが得られつつあります。このサイエンスカフェでは、ヒトのゲノム研究の現状を簡単に紹介するとともに、現代人の生活習慣病遺伝子が、実は、古代人の間では環境や文化への適応に一役買っていたことを示すいくつかの例についてお話したいと思います。進化の観点から考えることで、ありふれた健康問題の理解がさらに深まることを期待しています。

E-mail（jshas@human.ac.jp）もしくは
webからお申し込みください。

主催：人間総合科学 心身健康科学研究所、共催：人間総合科学大学・日本心身健康科学会